

育児休業取得状況等報告書

【企業担当者記載欄】

1 企業名	株式会社テルミック
2 貴社の取組状況について	<p>(1) 男性の育児休業取得促進に取り組むきっかけ・背景 家庭の両立や、働く女性が増えたことにより男性の育児参加率が上がり、当社でも男性の育休に取り組む必要性があると感じたため。</p> <p>(2) 男性の育児休業取得促進にかかるこれまでの取組 育児休業の制度を今までの取得者の例をあげて個人にあわせた内容で実施した。</p> <p>(3) 取得促進にあたっての課題とその解決策、工夫した点 課題：育児休暇の取得により、就労人数が減少し人員不足となる 解決策、工夫した点：従業員間のフォロー体制の強化と人員の確保</p> <p>(4) 取得者がいる職場の業務継続のために取り組んだこと 業務が属人化していないかを確認し、個人によって作業方法の違いがでないようマニュアルの整備を実施。</p> <p>(5) 定着に向けて、更に取り組んでいることがあれば教えてください 育児休暇が取得しやすいような会社の雰囲気づくりと、福利厚生などで家族が参加できるようなイベントを実施しています。</p>

【対象従業員記載欄】

1 育休取得期間	通算 30 日間
2 育児休業の取得について	<p>(1) 育児休業を取得したきっかけ 配偶者の体調と、子どものお世話が心配であったため。</p> <p>(2) 育児休業を取得して良かったこと 子どもの成長を間近で見ることができたのと、家族とのコミュニケーションがとれた</p> <p>(3) 育児休業の取得にあたり、円滑に業務を引き継ぐ上で工夫した点 自分が行ってる業務をしっかりと共有し、事前に育休に入る事を自分でも周囲に伝えた。</p> <p>(4) 育児休業の取得経験を通して業務に生かしていること 早く帰宅できるよう、効率よく業務に取り組めるようになった。</p> <p>(5) これから育児休業の取得を検討している方へのアドバイス 育休を取得する事で育児の大変さがよくわかりました。 みなさんも是非取得して育児に参加してみてください。</p>

(注意事項)

支給要綱第3条第1項第12号に基づき、本書への記載事項を県のWebサイトに掲載します。
なお、掲載に当たっては、その内容を事前に確認します。